

学校だより



令和5年(2023年)度

11月号

<教育目標> 楽しく 学び合い つながり合う 第七小学校 大阪狭山市立第七小学校

「本気」で取り組む姿と「あと1つ」

10月21日(土)に、天候にも恵まれ運動会が実施され、全学年全ての予定していたプログラムを終えることができました。今年度は、コロナ禍で数年間できなかった全学年による一斉開催が実現しました。各学年の演技に他の学年の子どもたちが手拍子をしたり、一緒になって同じ動きをして自由に応援してくれたり、競技中に学年関係なく「がんばれ!!」と声援の声が聞こえてきたりと、なかなかコロナ禍では見るのが難しかったあたたかい光景を見せてもらうことができました。

開閉会式で私がお話した中に出てきた、「本気」というキーワード。実は、6年生の練習の中で、担任の先生から出てきた言葉です。『今日の練習の目標は「本気」でやることです。』と6年生に伝えていました。この日の練習の様子を後ろから見ていますと、この時間の目標を達成するために、6年生が本気で取り組もうとしている気持ちが伝わってきました。ここで、改めて子どもたちに教えてもらったことは、『「本気」で取り組む姿は、かっこいい。』ということでした。

運動会の当日の演技は、どの学年も私たちに「感動」を与えてくれました。子どもたちは、人の心を動かしたのです。当日の演技を見ていると、見ている人たちが感動するほど人の心を動かすには、「本気」で取り組む姿だけでは無理なような気がしてきました。あと1つ必要なもの、それは「練習の積み重ね」だと感じました。

1回1回の練習を「本気」になって取り組み、積み重ねてきた姿(成果)に私たち、見ている側は心を動かされているような気がします。そして子どもたち、取り組んだ側は、達成感と自信を手に入れることでしょう。この達成感と自信は、子どもたちが成長する過程でとても大切なものだと思います。

保護者の皆さま、どうか運動会で感じられたお子さんの成長を、言葉にしてお子さんに伝えてあげてください。これからの新しいチャレンジにもつながると思います。

保護者・地域の皆さまへ

運動会では、皆さんが安全に気持ちよく観覧していただくために、学校・PTAからいろいろなお願いをさせていただきました。来校された皆さんが趣旨をご理解いただき、ご協力いただいたおかげで、大きな事故やトラブルもなく、無事運動会を終えることができました。本当にありがとうございました。

校長 平島 和